

1 美術館の利用の承認等に関する業務**● 来館者数の動向**

- ・第3四半期の来館者数は、5,903人(前年度同期 5,316人)で、前年度同期と比べ約11%増であった。
- ・今指定管理期間(平成26年度～平成30年度)5年間の第3四半期において、2番目に多い来館者数であった。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務**● 施設・設備の維持管理**

- ・設備機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・異常が発生した場合、速やかに対応し、施設の維持管理に努めた。
- ・建物状況調査(自主点検)及び建築物定期点検に対応・協力した。
- ・季節に応じた植物の植付などを行った。

● 施設の運営

- ・展覧会ごとにチラシやポスター等を作成し、周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務**● 展示・その他事業**

- ・予定どおり企画展及び特別展を開催した。
 - * 展示替 59作品71点の展示(10月)
 - 63作品67点の展示(11月)
 - 1作品1点の展示(12月)
- ・各展覧会で展示解説を行い、延べ384人の参加者があった。
- ・講演会やワークショップ近隣文化施設との連携企画など多彩な普及事業を開催した。
 - * 日本画ワークショップ「隈取りの技法で墨絵を描こう」
 - * 日本画ワークショップ「胡粉を使って、日本画を描こう！」
 - * 美術講演会「泉鏡花と鏑木清方『深沙大王』を中心に」
 - * 日本画制作実演
 - * 朗読と作品解説で楽しむ泉鏡花と清方
 - * 北鎌倉葉祥明美術館・川喜多映画記念館との連携企画ミュージアムからミュージアムへ♡鎌倉美活ウォーク
 - 特別イベント「ヨガインストラクターと歩く鎌倉美活ウォーク」
 - * 開館20周年記念日本舞踏イベント「おしえて！清方の日本舞踏の世界」

● その他必要な業務

- ・近隣文化施設とのスタンプラリーを実施するなど、他館との連携に努め美術館のPRを行った。
- ・葉祥明美術館・川喜多映画記念館と連携し、相互割引や絵ハガキプレゼントの企画を行った。
- ・山口蓬春記念館と連携事業を行った。
- ・社会貢献活動の一環として中学生のインターンシップ生の受け入れを行った。
- ・取材対応、団体受入などを行った。

4 鏑木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務**● 収集・保管**

- ・作品等の保管や展示の状況確認を10月4日、11月8日に行い、結果は良好であった。
- ・8mmフィルムのデジタルデータ化、下絵1点、スケッチ1点の裏打ちを行った。

● 調査・研究

10月

清方と鏡花の関わりについての調査、鏡花文学に登場する女性像についての調査、清方が描いた鏡花作品の口絵についての調査、平福百穂作品の実見調査、花柳章太郎と清方との関わりについての調査、西田青坡作品における清方の影響についての調査、清方と金鈴社会員との関わりについての調査、大正期の大阪画壇の文展出品作の実見調査、『中央美術』掲載記事に関する調査、結城素明「画報一斑」に関する調査、清方の金鈴社に関する記述の調査、清方「新浮世絵講義」に関する調査

11月

水野年方に関する資料調査、随筆における清方の弟子についての記述の調査、随筆における年方についての記述の調査、清方『新浮世絵講義』についての調査、金鈴社展出品作品についての調査、『中央美術』に関する調査、吉川霊華作品の実見調査、金鈴社と大正画壇の動向調査、新派俳優と清方との関わりについての調査

12月

清方の随筆における水野年方に関する記述の調査、清方の随筆における正月についての記述の調査、鏡木家旧蔵の装飾品についての調査、大正期の画壇における金鈴社の活動についての調査、田口掬汀の明治から大正初期にかけての活動の調査、花柳章太郎の瀧の白糸の衣装についての調査、『中央美術』掲載記事に関する調査、通信教育「日本画講義」に関する調査、三遊亭圓朝・月岡芳年に関する調査

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている(10月分:11月14日、11月分:12月10日、12月分:1月10日提出)。
- ・休館情報や展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会や日本画ワークショップ等の情報を掲載し、市民への周知を行った。
- ・モニター広告を利用し、市役所本庁舎への来庁者に展覧会内容を周知した。

● 事故・苦情対応

- ・事故や苦情はなし。

● その他

- ・「全国美術館会議 小規模館研究部会第48回研修会」に参加し、情報収集を行った。
- ・『第1回マルパ研修会「障がい者にとって居心地の良い美術館とは？」』に参加した。
- ・「美術・博物館LED照明研修会」に参加した。

6 全体評価

- ・第3四半期は、前年度同期と比較して約11%の増となっている。昨年の同期は週末ごとに台風の影響を受け、来館者数が落ち込んだが、今年度は天候も比較的安定していたため例年並みの動向まで回復した。
- ・近隣文化施設との連携事業を積極的に進め、新規の企画を実行する等積極的に、美術ファンにとどまらないPR活動を行った。飲食店にも企画に参加していただくなど、協力の輪が広がっており、更なる展開を期待したい。
- ・社会貢献活動の一環として中学生のインターンシップ生を受入れた。
- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検をはじめ、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。また、定期的な清掃・庭園整備だけでなく、季節に応じた草花に植替えるなど展示だけでなく美術館を訪れる方が楽しめるよう工夫している。

評価項目	判定点	第3四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鍋木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%